

時期	学習内容 単元・領域名	観点	単元の評価規準	評価方法	学習活動
3 年 生  3 学 期 ( 理 科 )	A物質・エネルギー (1)物と重さ  ものと重さ	知識・技能	ア(ア)物は、形が変わっても重さはかわらないことを理解している。 (イ)物は、体積がおなじでも重さは違うことがあるということを理解している。 観察や実験などに関する技能を身に付けている。	行動観察 ノート 発言 テスト	物の形(ねんど)や体積(木・鉄・アルミ・ゴム・プラスチックなどのおもり)の重さを比較しながら調べる活動  てんびん・はかりを実験で使う
		思考・判断・表現	イ物の形や体積と重さとの関係について追及する中で、差異点や共通点を基に、物の性質についての問題を見だし、表現している。		
		主体的に学習に取り組む態度	電気の回路についての事物・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしているとともに、学んだことを学習や生活に生かそうとしている。		
	A物質・エネルギー (3)光と音の性質  音のせいしつ	知識・技能	ア(ア)日光は直進し、集めたり反射させたりできることを理解している。 (イ)物に日光を当てると、物の明るさや暖かさが変わることを理解している。 (ウ)物から音が出たり伝わったりするとき、物は震えていること、また音の大きさが変わるとき物の震え方が変わることを理解している。 観察や実験などに関する技能を身に付ける。	行動観察 ノート 発言 テスト	音を出したときの物の震え方を音の大小によって比較しながら調べる活動
		思考・判断・表現	光を当てた時の明るさや暖かさの様子、音を出したときの震え方の様子について追及する中で、差異点や共通点を基に、光と音の性質についての問題を見だし、表現している。		
		主体的に学習に取り組む態度	光と音の性質についての事物・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしているとともに、学んだことを学習や生活に生かそうとしている。		
	A物質・エネルギー (4)磁石の性質  じしゃくのふしぎ	知識・技能	ア(ア)磁石に引き付けられる物と引き付けられない物があること、また磁石に近づけると磁石になる物があることを理解している。 (イ)磁石の異極は引き合い、同極は退けあうことを理解している。 観察や実験などに関する技能を身に付けている。	行動観察 ノート 発言 テスト	磁石を身の回りの物に近づける・二つの磁石を近づける・磁石を自由に回した時に止まる方位を調べる活動  棒磁石やU字型磁石
		思考・判断・表現	磁石を身の回りのものに近づけたときの様子について追及する中で、差異点や共通点を基に、磁石の性質についての問題を見だし、表現している。		
		主体的に学習に取り組む態度	磁石の性質についての事物・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしているとともに、学んだことを学習や生活に生かそうとしている。		

時期	学習内容 単元・領域名	観点	単元の評価規準	評価方法	学習活動
4 年 生  3 学 期 ( 理 科 )	A物質・エネルギー (2) 金属、水、空気と 温度  もののあたたまり方	知識・技能	ア(ア) 金属、水及び空気は、温めたり冷やしたりすると、それらの体積が変わるが、その程度には違いがあることを理解している。 (イ) 金属は熱せられた部分から順に温まるが、水や空気は熱せられた部分が移動して全体が温まることを理解している。 観察・実験などに関する技能を身に付けている。	行動観察 ノート 発言 テスト	・理科室で実験
		思考・判断・表現	金属、水及び空気の性質について追及する中で、既習の内容や生活経験を基に、金属、水及び空気の温度を変化させたときの体積や状態の変化、熱の伝わり方について、根拠のある予想や仮説を発想し、表現している。		
		主体的に学習に取り組む態度	空気、水、及び金属の性質についての事物・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとするとともに、学んだことを学習や生活に生かそうとしている。		
	A物質・エネルギー (2) 金属、水、空気と 温度  水のすがた	知識・技能	ア(ウ) 水は、温度によって水蒸気や氷に変わることで、また水が氷になると体積が増えることを理解している。 観察・実験などに関する技能を身に付けている。	行動観察 ノート 発言 テスト	・理科室で実験
		思考・判断・表現	金属、水及び空気の性質について追及する中で、既習の内容や生活経験を基に、金属、水及び空気の温度を変化させたときの体積や状態の変化、熱の伝わり方について、根拠のある予想や仮説を発想し、表現している。		
		主体的に学習に取り組む態度	空気、水、及び金属の性質についての事物・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとするとともに、学んだことを学習や生活に生かそうとしている。		
	B生命・地球 (2) 季節と生物  冬の生き物	知識・技能	ア(ア) 動物の活動は、暖かい季節、寒い季節などによって違いがあることを理解している。 (イ) 植物の成長は、暖かい季節、寒い季節などによって違いがあることを理解している。 観察・実験などに関する技能を身に付けている。	行動観察 ノート 発言 テスト	・校内の観察 ・ヒョウタン・ヘチマ・ツルレイシ の観察
		思考・判断・表現	身近な動物や植物について追及する中で、既習の内容や生活経験を基に、季節ごとの動物の活動や植物の成長の変化について、根拠のある予想や仮説を発想し、表現している。		
		主体的に学習に取り組む態度	動物の活動や植物の成長と環境との関わりについての事物・現象に進んで関わり、生物を愛護し、他者と関わりながら問題解決しようとするとともに、学んだことを学習や生活に生かそうとしている。		

4  
年  
生  
3  
学  
期  
(  
理  
科  
)

B生命・地球 (2) 季節と生物 生き物の1年間	知識・技能	ア(ア) 動物の活動は、暖かい季節、寒い季節などによって違いがあることを理解している。 (イ) 植物の成長は、暖かい季節、寒い季節などによって違いがあることを理解している。 観察・実験などに関する技能を身に付けている。	行動観察 ノート 発言 テスト	・校内の観察 ・ヒョウタン・ヘチマ・ツルレイシ の観察
	思考・判断・表現	身近な動物や植物について追及する中で、既習の内容や生活経験を基に、季節ごとの動物の活動や植物の成長の変化について、根拠のある予想や仮説を発想し、表現している。		
	主体的に学習に取り組む態度	動物の活動や植物の成長と環境との関わりについての事象・現象に進んで関わり、生物を愛護し、他者と関わりながら問題解決しようとするとともに、学んだことを学習や生活に生かそうとしている。		
B生命・地球 (3) 雨水の行方と地面 の様子 水のゆくえ	知識・技能	ア(ア) 水は、高い場所から低い場所へ流れて集まることを理解している。 (イ) 水のしみこみ方は、土の粒の大きさによって違いがあることを理解している。 観察・実験などに関する技能を身に付けている。	行動観察 ノート 発言 テスト	・水のゆくえに着目して、それと水の 状態変化とを関係づけて自然界の 水のようにすを調べる活動
	思考・判断・表現	雨水の行方と地面の様子について追及する中で、既習の内容や生活経験を基に、雨水の流れ方やしみこみ方と地面の傾きや土の粒の大きさとの関係について、根拠のある予想や仮説を発想し、表現している。		
	主体的に学習に取り組む態度	水の行方と地面の様子についての事象・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとするとともに、学んだことを学習や生活に生かそうとしている。		
B生命・地球 (5) 月と星 冬の夜空	知識・技能	ア(イ) 空には、明るさや色の違う星があることを理解している。 (ウ) 星の集まりは、1日のうちでも時刻によって、並び方は変わらないが、位置が変わることを理解している。 観察・実験などに関する技能を身に付けている。	行動観察 ノート 発言 テスト	NHK for school 等の動画を使用し ての学習
	思考・判断・表現	星の特徴について追及する中で、既習の内容や生活経験を基に、星の位置の変化と時間の経過との関係について、根拠のある予想や仮説を 発想し、表現している。		
	主体的に学習に取り組む態度	月や星についての事象・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとするとともに、学んだことを学習や生活に生かそうと している。		

時期	学習内容 単元・領域名	観点	単元の評価規準	評価方法	学習活動
5 年 生  3 学 期 ( 理 科 )	A 物質・エネルギー (1) 物の溶け方  もののとけ方	知識・技能	ア (ア) 物が水に溶けても、水と物とを合わせた重さは変わらないことを理解している。 (イ) 物が水に溶ける量には、限度があることを理解している。 (ウ) 物が水に溶ける量は水の温度や量、溶ける物によって違うことを理解している。 観察、実験などに関する技能を身に付けること。	行動観察 ノート 発言 テスト	水溶液の実験・観察
		思考・判断・表現	物の溶け方について追及する中で、物の溶け方の規則性についての予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現している。		
		主体的に学習に取り組む態度	物の溶け方についての事物・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしているとともに、学んだことを学習や生活に生かそうとしている。		
	A 物質・エネルギー (3) 電流がつくる磁力  電流と電磁石	知識・技能	ア (ア) 電流の流れているコイルは、鉄心を磁化する働きがあり、電流の向きが変わると、電磁石の極も変わることを理解している。 (イ) 電磁石の強さは、電流の大きさや導線の巻数によって変わることを理解している。 観察、実験などに関する技能を身に付けている。	行動観察 ノート 発言 テスト	電磁石の作成・観察・実験
		思考・判断・表現	電流がつくる磁力について追及する中で、電流がつくる磁力の強さに関係する条件についての予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現している。		
		主体的に学習に取り組む態度	電流がつくる磁力についての事物・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしているとともに、学んだことを学習や生活に生かそうとしている。		

時期	学習内容 単元・領域名	観点	単元の評価規準	評価方法	学習活動
6 年 生  3 学 期 ( 理 科 )	A物質・エネルギー (3) てこの規則性  てこのはたらき	知識・技能	ア(ア)力を加える位置や力の大きさを変えると、てこを傾ける働きが変わり、てこがつり合うときにはそれらの間に規則性があることを理解している。 (イ)身の回りには、手この規則性を利用した道具があることを理解している。 観察、実験などに関する技能を身に付けている。	行動観察 ノート 発言 テスト	実験をもとに、てこの規則性について考えたり説明したりする活動
		思考・判断・表現	てこの規則性について追及する中で、力を加える位置や力の大きさとてこの働きとの関係について、より妥当な考えをつくりだし、表現している。		
		主体的に学習に取り組む態度	てこの規則性についての事物・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしているとともに、学んだことを学習や生活に生かそうとしている。		
	A物質・エネルギー (4) 電気の利用  発電と電気の利用	知識・技能	ア(ア)電気は、つくりだしたり蓄えたりすることができることを理解している。 (イ)電気は、光、音、熱、運動などに変換することができることを理解している。 (ウ)身の回りには、電気の性質や働きを利用した道具があることを理解している。 観察、実験などに関する技能を身に付けている。	行動観察 ノート 発言 テスト	実験をもとに、エネルギー資源の有効活用について日常生活とつなげて考える活動
		思考・判断・表現	電気の性質や働きについて追及する中で、電気の量と働きとの関係、発電や蓄電、電気の変換について、より妥当な考えをつくりだし、表現している。		
		主体的に学習に取り組む態度	電気の性質や働きについての事物・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしているとともに、学んだことを学習や生活に生かそうとしている。		
	B生命・地球 (3) 生物と環境  自然とともに生きる	知識・技能	ア(ア)生物は、水及び空気を通して周囲の環境と関わって生きていることを理解している。 (イ)生物の間には、食う食われるという関係があることを理解している。 (ウ)人は、環境と関わり、工夫して生活していることを理解している。 観察、実験などに関する技能を身に付けている。	行動観察 ノート 発言 テスト	生物と環境との関わりについて考えたり、説明したりする活動
		思考・判断・表現	生物と環境について追及する中で、生物と環境との関わりについて、より妥当な考えをつくりだし、表現している。		
		主体的に学習に取り組む態度	生物と環境との関わりについての事物・現象に進んで関わり、生命を尊重し、他者と関わりながら問題解決しようとしているとともに、学んだことを学習や生活に生かそうとしている。		